



多くの組合員の声を基に**年間6ヶ月以上**の期末手当を勝ち取ろう！

申4号 2024年度年末手当に関する申し入れ 第1回団体交渉開催！ その1



組合員・社員の努力に報いない経営姿勢に立ち向かい、
私たちの要求実現に向けて職場からたたかおう！

**3.7ヶ月
満額回答を
強く求める！**

申4号の“趣旨説明”を行いました！
(趣旨説明の内容はその2をご参照ください)

昨年を上回る好調な決算であり、支払い能力は十分にある！

JR東労組は、現場第一の姿勢で組合員・社員の努力に報い、組合員・社員を大切に
する経営姿勢を示して3.7ヶ月の満額回答
することを会社に強く求めます！

会社の現状認識

- 安全・安定輸送、品質の高いサービスの提供、日々の業務遂行、この間構造改革、融合と連携等の様々なチャレンジを通じて、新たな価値創造に向けて全力で取り組んでいただいていることに感謝
- 令和6年度第2四半期決算が発表され、社員の皆さんの努力もあり、本業の力を示す営業利益が単体で1960億円と前年度上回った
- 上期運輸収入は昨年を上回るが、中長距離収入を中心に弱く、**もう一段の増収が必要**
- インバウンドは日本全体で9月に昨年の2500万人を超えているが、当社エリアに取り込めずに伸び悩んでいる
- 営業費用は物価高騰もあり修繕費が増加傾向のため、**より一層のコストダウンが必要**
- 欧米の高い金利水準、中国における不動産市場の停滞の影響、中東地域を巡る情勢等々、グローバル化の中で世界経済の影響を受けることからすれば、引き続き注視していく必要がある
- 企業物価指数も伸びていて、物価の影響は家計への影響だけでなく企業にも及んでいる
- 中長期的な見通しでは「変革2027」で想定している人口減少等当社を取り巻く経営環境に変わらない
- 引き続きサステナブルに成長する企業をつくりあげるために構造改革をさらに推進して、モビリティと生活ソリューションの2軸の経営の早期確立を目指していく
- 「融合と連携」による収益力の拡大、コストダウンの取り組みをはじめとする生産性の向上などを通じて、いかなる経営環境の変化にも持続的に成長を続けられる強靱な経営体質の構築が必要である。
- 平均1万円を超える賃金改定とこの間実施した処遇改善、世の中に比較してもそんな色ない水準にあるという状況を踏まえて、**総合的に判断していく**